学校番号	112

令和８年度　国際理解

教科	国際理解	科目	国際社会	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国際社会の授業では、国際社会情勢を理解し、課題解決に向けて研究・協議します。世界各国の歴史や概要を知り、国際社会問題を考えるだけでなく、新聞やインターネットなどのニュース・報道を見て、情報リテラシー力を高めます。自分の気になる国際問題を取り上げ、研究していきましょう。

2　学習の到達目標

国際社会情勢を理解し、過去・現在・未来の日本の在り方を研究・協議する。	
知識及び技能	国際社会情勢の理解に必要な基本的な知識を身につけている。 新聞やインターネットを通じて諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通じて情報リテラシー力を身につける。　国際社会情勢について理解を深めるとともに、課題解決に向けて考察し、それらを適切に表現、発表する。 国 際問題について、国際社会に生きる社会の一員として関心と課題意識を高め、主体的に知識を増やし、課題解決について考えようとしている。
思考力、判断力、表現力等	国際社会情勢について理解を深めるとともに、課題解決に向けて考察し、それらを適切に表現、発表する。
学びに向かう力、人間性等	国際問題について、国際社会に生きる社会の一員として関心と課題意識を高め、主体的に知識を増やし、課題解決について考えようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国際社会情勢の理解に必要な基本的な知識を身につけている。 新聞やインターネットを通じて諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用することを通じて情報リテラシー力を身についている。	国際社会情勢について理解を深めるとともに、課題解決に向けて考察し、それらを適切に表現、発表できる。	国際問題について、国際社会に生きる社会の一員として関心と課題意識を高め、主体的に知識を増やし、課題解決について考えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	世界各国の概要① 韓国、中国、台湾、北朝鮮	・講義形式による授業 ・インターネットを使用しての時事問題ニュース閲覧 ・各報道機関発行の新聞記事を引用した新聞閲覧 ・情報リテラシー能力を高める	定期考査	定期考査 レポート	レポート プレゼンテーション
2学期	世界各国の概要② イスラエル、シリア、イラン	・講義形式による授業 ・インターネットを使用しての時事問題ニュース閲覧 ・各報道機関発行の新聞記事を引用した新聞閲覧 ・情報リテラシー能力を高める	定期考査	定期考査 レポート	レポート プレゼンテーション
3学期	世界各国の概要③ スペイン、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ウクライナ、ギリシャ	・講義形式による授業 ・インターネットを使用しての時事問題ニュース閲覧 ・各報道機関発行の新聞記事を引用した新聞閲覧 ・情報リテラシー能力を高める	定期考査	定期考査 レポート	レポート プレゼンテーション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度